

最も標準的・正統的なイエス像を描く

J・ロルフ著

嶺重 淑、A・ルスターホルツ訳

イエス



辻学

イエスについて書かれた書物は数えきれないほど存在するが、描き出されるイエス像には本の数だけ違いがあるとさえ言える。それは、資料である福音書を分析し、その内容をまとめ上げていく過程に、イエスを描く側の思想的、また社会的な立場が必ず影響するからである（そもそも四つの福音書にも同じ事が言える）。

本書の著者、故ユルゲン・ロルフ氏は、ドイツのエアランゲン・ニュルンベルク大学で一九九八年まで新約聖書学を講じた（二〇〇四年逝去）、いわばドイツ新約学を代表する学者の一人である。それゆえ、本書は一般読者向けの内容でありつつも（したがって詳しい注や二次文献との批判的対論は省かれている）、ドイツにおけるイエス研究の傾向を明瞭に反映したものとなっている。

二〇世紀以降のイエス研究の流れに本書がどう位置づけられるかは、第九章「批判的コメント」から見て取れる（それゆえ、この章が最初に置かれた方が良かった気もする）。著者は、R・ブルトマンの弟子たちによる史的イエス研究がもたらした復

活後の宣教との連続性を重要視しており、イエスとユダヤ教との連続性を十分考慮していなかったことや、テキストに根拠を持たない通俗的な「学問的出版」の類がイエス像を歪めていること、さらにはクムラン文書を下敷きにして、聖書の描くそれとは異なるイエス像を描こうとする試みがあることなどを批判的に取り上げ、また近年の「イエス・セミナー」グループが示す、「キユニコス派のディオゲネスを模範とする社会からの脱出者」としてのイエス像をも退けている。それに対してロルフ氏の描くイエスは、「終末時の神の民の代表者」（一六四頁）としてユダヤ教の枠内に留まりつつ、「始まりつつある神支配を独特の仕方代表している」（一六三頁）ことを自覚しつつ行動した預言者という、神学思想的な面が強調された「正統的」とも言える像になっている。

本書の構成もまたオーソドックスなものである。著者は最初に、イエスを描くのに用いられる資料を概観し、次に同時代のパレスチナの政治的状況、さらにはユダヤ教の多様性を描いた後で、はじめて聖書に基づいてイエスの生涯を語っていく。テ

キストを扱う前に「背景」から丁寧に論じていくというそのスタイルは、著者の学的良心を窺わせるが、読者としては、なかなか本論に入らないもどかしさを感じることも事実である。思い切った第五章「イエスの生涯の概要」以降を先に読むのも一手かもしれない。

イエスの言動の全てを「間近な神支配の預言者」（二〇一頁）という神学的表題の下にまとめようとするロルフ氏の視点は、まさに史的イエスと復活後の原始キリスト教におけるキリスト理解との神学的連続性を問題にするドイツ型イエス論の典型であるように思える。イエスの譬えは「現在へと突入する将来について語る神支配、そしてイエス本人と神支配との直接的な関係性を扱っている」（二二三頁）とされ、また治癒奇跡は「イエスが病人に神の近さと助けをもたらす者として現れる個人的な出会い」（二二二頁）と解釈される。イエスが生涯の最後にエルサレムへ向かったのも、「イスラエルの中心地で、神の民

を神支配の接近に直面させようとした」（一四九頁）振舞いだというのである。

イエスとユダヤ教との関係を「対立」ではなく「先鋭化」や「徹底」と捉え、ユダヤ教の枠内で理解できる存在としてイエスを描こうとするのも、ドイツ語圏を中心に見られる傾向の一つである。マルコ七・一五の発言をトローラー批判と見なさないなど、多少無理も犯して著者はこのテーゼを貫いているが、この点などはもう少し丁寧な議論があっても良かった気がする。訳文は明快で、すらすら読み通せる。嶺重・ルスターホルツ両氏のご苦労に心から感謝したい。聖書を開いて横に置き、著者の解釈に賛成できるか考えつつ読むと味わいも深まると思う。個人で読むのはもちろん、学校の教材として、さらに教会の聖書研究会や読書会での利用もお勧めできる一冊である。

（つじ・まなぶ）広島大学大学院総合科学研究科教授
（四六判・一九〇頁・一五七五円（税込）・教文館）

キリスト新聞社の本
Kirisuto Shimbun, Co., Ltd.

説教をめぐる 知恵の言葉

リチャード・リシャール著
加藤常昭監訳

古代から
現代まで

六〇名近い神学者たちの言葉を集めたキリスト教説教学資料集！
本書は説教の技法について、「説教とは何か」「説教者」「神の言葉を語る」と「聖書の解釈」「レトリック」「聴き手」「説教と教会」の7つのテーマに沿って編纂され、いまなお多くの人に支持されているアンソロジー。下巻では原著第5章「レトリック」、第6章「聴き手」、第7章「説教と教会」を収録。



好評発売中
A5判 346頁 5,260円

エンディングノート
愛する人に遺す
私のノート

木村恵子著
B5判変型・64頁・1,260円

キリスト教カウンセリング講座ブックレット13

自殺危機とそのケア
斎藤友紀雄著
A5判・118頁・1,260円

キリスト新聞社
162-0814 東京都新宿区新小川町9-1
TEL. 03-3260-6445 (価格に税込)
E-Mail. support@kirishin.com
URL. http://www.kirishin.com